

授業科目名	プレゼンテーション			科目コード	MSES 0023
学科・コース名	総合ビジネス科 eスポーツビジネス			履修区分	選択必修
授業形態	実習	開講学年	2年次	学期	後期
担当教員	谷山 珠之	実務経験	無	単位数	2 単位
授業の目的・目標	本授業では様々なツールを使って効果的な資料を作成し、相手の興味を引きつけるスキルを習得することを目的としている。単に資料を説明するだけでなく、相手の興味を引くために何を伝えるべきかを考え、プレゼンテーションの品質を向上させる能力を養うため、授業の中で課題を設けそれに対するプレゼンを実施する。				
授業の概要	資料を作成する際のデザイン原則やストーリーテリングのテクニックについて学びます。さらに、単に情報を伝えるだけでなく、相手の興味を引くために何が必要かを考えるトレーニングを行います。実際のプレゼンテーション演習を通じて、プロフェッショナルなプレゼンテーションスキルを向上させます。				
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1～3	プレゼンテーションの必要性・コミュニケーションとの密着性			illustrator、Photoshopの復習をする	60分
4～6	前期復習(レイアウト・デザイン)演習、3分テーマ：※当日発表			13回目までに完成させ、提出する	120分
7	プレゼンの構成、話し上手と聞き上手(反応・話の受け止め方等)			話し手・聞き手に分かれ実践する	60分
8	PREP法を用いたストーリーテリング			内容を参考に3分プレゼンを作成する	60分
9	フィードバックとは、説明・意見・提案の差異			各内容をまとめておく	60分
10	引き込むプレゼンとは、知らない人でも取り込むプレゼン(投げかけ)			内容を参考に3分プレゼンを作成する	60分
11	文字と図の視認性の違い			内容をもとに3分プレゼンを作成する	60分
12	言葉と視覚の量について			自身の状態に合わせ、プレゼン変更する	30分
13	目の前でプレゼンする際の効果的な印象について、質問に関して			ジェスチャーや目線等練習する	30分
14～16	3分プレゼンテーション・講評・振り返り			事前に発表の準備をしておく	60分
17	チームでの取組み・分担について、5分テーマ：※当日発表			33回目までに完成させ、提出する	120分
18～21	リサーチの重要性、自分の常識にとらわれないために、リサーチ作業			チームでリサーチし、報告をする	120分
22	リサーチから仮説を立てる、論理的思考の重要性			論理的思考について予習しておく	60分
23	企画書でのプレゼンで気を付けるべき点			内容を参考に5分プレゼンを作成する	60分
24	図や表を活用したプレゼンについて			図や表利用のデザインを修正する	60分
25～30	5分プレゼンテーションスライド添削・修正			添削部分の修正を行う	60分
34	チーム毎・発表練習			事前に誰がどこを発表するか決める	60分
35～40	5分プレゼンテーション・講評・振り返り			資料を使って発表練習をしておく	60分
41	イベント企画のプレゼンについて 10分テーマ：※当日発表			56回目までに完成させ、提出する	120分
42～45	企画書たたき台の作成、ターゲット層・販促イメージ等詳細に起こす			企画書の作成を終わらせる	120分
46～51	たたき台からプレゼン用に起こしていく(デザイン制作も並行)			プレゼン用の資料を作成する	120分
52	中間確認、添削・修正			添削部分の修正を行う	60分
53～56	決定稿プレゼン資料の作成			プレゼン用の資料を完成し、提出する	120分
57～60	プレゼンテーション試験前発表練習、これまでのまとめ			事前にプレゼンの発表の準備をする	60分
評価方法	・小課題：30%、授業態度：20%、プレゼンテーション試験(期末試験)：50%で評価する ※プレゼンテーション試験は受講学生・数名の教職員の前で実施する				
教科書参考書	教科書 ：プレゼンテーション技法(株式会社ウイネット プレゼンテーション学研究会) 参考書①：コミュニケーション技法(株式会社ウイネット プレゼンテーション学研究会) ②：伝わるデザインの基本 増補改訂3版 よい資料を作るためのレイアウトのルール(高橋 佑磨、片山 なつ) ※適宜レジュメ・資料を配布する。教科書参考書の使用時は、授業中に指示する。				

授業外学修について 授業外学習の内容のほかに、予習・復習に1時間をあて、授業準備を行うこと